

有識者の知見

まず父親のサポートで 母親の安らぎと子どもの喜びを

小林 登 [国立小児病院名誉院長]

家族が共に喜び、感激することは、
生命のバトンタッチする
母親の精神を安定させ、
子どもにも良い影響

【これまでの研究から分かること】

(ア) 母親の精神状態が胎児の行動にも影響—母親が嬉しいときは胎児の運動時間は長く、運動も速くなる。

- ・「基本的信頼」の確立には、親子の相互作用が重要。
「共感の心」、「心の理論」の確立には「基本的信頼」が必須。

(イ) 夫婦間での情緒的サポートを受けているとの認識は、妻の方が低い。

- ・妊婦・分娩・育児により、生命のバトンタッチする母親に対する父親のエモーショナルサポートが大事で、父親の育児休業を常識化しなければならない。
- ・子育てのノウハウは世代間で伝承される。母親の子育てに祖父母の果たす役割は重要である。

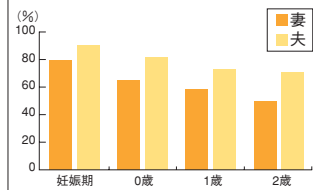
(ウ) 結婚した夫婦で、子どもの頃から今までに赤ちゃんにふれ合う機会があったのは約半数である。

- ・家庭・学校・社会でのお年寄りや赤ちゃんとのふれ合い、いろいろな職業の人同士とのふれ合い、異世代の子どもたちとのふれ合いは、人の心を読み取る心や道德感覚の基盤の強化につながる。

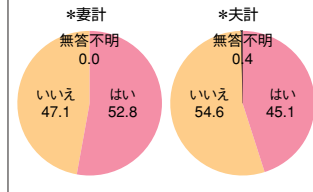
夫婦間の情緒的サポート 「相手から自分へのサポート」

Q: 私の配偶者は私の仕事、家事、子育てをよくねぎらってくれる

*「あてはまる」「ややあてはまる」の数値



Q: 子どものころから今までに赤ちゃん(ご夫婦のお子様は除く)に身近に接したり世話をする機会がありましたか?



(資料) 第1回妊娠出産子育て基本調査 (ベネッセ世代育成研究所 平成19年)

脳機能の発達には、家族や自然との 様々な接触の機会が重要

津本 忠治 [理化学研究所脳科学総合研究センター
グループディレクター]

親、兄弟など周りの人と「顔」や
「目」を見つめて、言葉を交わす
ことが脳機能の発達に、大きく影
響すると想定されている

【これまでの研究から分かること】

(ア) 脳には、「顔」だけによく反応する神経細胞が集まる領域(※)が存在する。(※)大脳皮質側頭葉や扁桃体と呼ばれる領域

- ・コミュニケーションには相手の「顔」に表れる情動(※)を察知することが大切であるが、高度情報化の進展は、その機会を減らす傾向にある。(※)表情や行動に表れる感情
- ・子どもがゲームやテレビ等を一人で見ると機会を減らす。見る場合は家族一緒に見る。また、家族で顔を合わせて食事をする機会を増やすことが重要である。



(イ) 脳機能の健全な発達には、乳幼児期に偏りのない豊富な刺激を受けることが重要である。



- ・多様な自然環境で遊ぶ、近所の人たちと顔を合わせ、言葉を交わすという自然や人との交流、刺激は大事である。
- ・地域で子どもが遊べる自然環境豊かな空き地や遊園地を残すこと、歩行者天国のような車がない地域や時間帯を放課後に設けること、放課後の子ども会活動を活発化することなどは、子どもの脳の発達に良い刺激を与えると思われる。